

湖南在世時を偲ばせる「恭仁山莊」

奥村郁三

書籍類が、博士の「禁に山莊」及び内藤伯健（乾吉）先生所蔵の書籍類と共に今回幸ひにも閣下大學に譲られることとなつた。書籍は主として香気に調ちた漢籍であるコレクションである。本学善本のコレクションを置くには図書館に「内藤文庫」を設置して迎へる運びとなった。

全貌は今後の調査にまたなければならぬが、推定三万冊を超えてそのほとんどが善本であり、しかも世界の孤本といふべきものが少な

父祖に対する敬慕の情、
神田喜一郎博士のなみな
御厚情によって記念すべ
きたということができる。

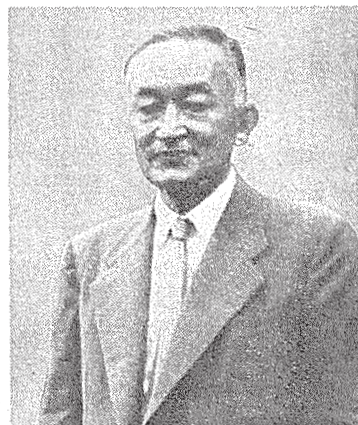
が、しかも考証のための考証に陥る風とは全く無縁であった。一氣に事柄の核心に迫る独創の方法はまさに天才の独壇場と称される

孤本がある。(四)湖南の自筆書入
れ本が少なくないが、湖南の学問
を知るために極めて貴重、という
ものである。

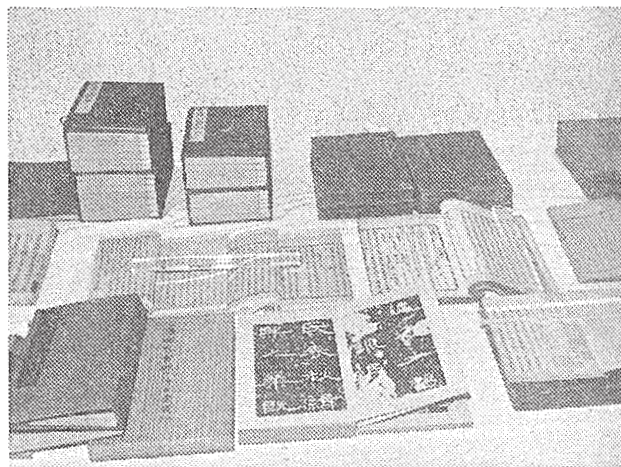
内藤南軒(虎次郎)博士旧蔵の書籍類が、博士のかゝ「禁」に山荘及び内藤伯健(寛吉)先生旧蔵の書籍類と共に今回幸ひにも閣西大学に譲られることとなった。書籍は主として香気に満ちた漢籍のコレクションである。本学は図書館に「内藤文庫」を設置し、これを受け継ぎ、更に



内藤湖南 (1866—1934)



内藤伯健 (1899—1978)



内藤湖南先生と内藤伯健先生旧蔵の書籍類の一部

流出したが「蔡仁山莊」に今なお残された推定三万有余の典籍はほとんどが湖南の学識と鑑識眼に及第した善本であって、これらの持つ學術価値ははかり知れぬものがある。

齡の和田喜一郎博士（東洋學者
 學士院會員、わが國中國書誌學の
 最高權威、湖南の高足）をわすら
 わして一覽を請うたが、博士の總
 括的見解を要約すると、（一）近世
 は中國學の各方面にわたり、哲學
 ・史學・文學における重要典籍に
 ほとんど網羅し、仏教や美術に關
 するものが多いのが一つの特徴で
 ある。（二）これらの典籍が多く、普
 通であり、明版や中國精鈔本も多

本 号 の 内 容

▼1面 新役職者決まる 「内藤文庫」を
迎えるにあたって 千里眼▼2・3面 新役
職者紹介 新任教員紹介 学位記授与 工学
部実験実習場竣工 59年度在外研究員紹介
あこう市民大講座 大学院合格者決まる
考古学等資料室の一般公開 米抄信 工技
研講演会 『公共事業と人間の尊重』刊行
小沢君がアフリカへ 総合コース「人権問題
論」特別講座の開催 違法・迷惑駐車、なお
二五〇台 図書館だより▼4・5・6面 座
談会「いま、なぜライフサイエンスか」
学園祭 スポーツ週間 学生諸団体の行事予
定▼7面 自然と親しむ▼8面 マルクス
シュムペーター、ケインズ 世界の大学 新
刊紹介 編集後記

大學二年のときから二〇年間吸い続けてきた煙草を止めて四カ月になる。嫌煙権運動に同調したのでも家族の非難に屈したのでもない。喫煙の害を恐れて自免的に禁煙したと言いたいところだが、実はこの春から急に持病が

は、一人湖南というより、明治以後近代百年のわが国學問の一つの記念碑として永く伝えられるであろう。書庫は幸いに無事である。門弟からは無限の尊敬を受けると共に、地元の人々や生誕地の人々からも慕われ、湖南興形会が秋田県鹿角市と京都府加茂町に組織

から命が惜しければ即刻絶命せよと宣告されたのである▼学生時代はじめて口にしたのは一箱五〇円のいこいだっと思う。その後フルター付きが現われて好みはハイライト、チェリーゼ、フアンスター、マイルドセブンと移り変わってきた。ソフ

まれている。漢籍善本のかような大移動はわが国でも今後望み得ないかも知れないであろう。今回の件は、内藤伯健先生が私の恩師であるという因縁があったが、法人側のな井忠雄理事長、稲野治兵衛副理事長、教学側の大西昭男学長の決断名取栄史図書館長その他関係各事務部局の非常な努力、及び伯健先生御遺族内藤孝一氏と内藤家の学術遺産に対する真摯な見解

内藤湖南は慶応二年（一八六六）、秋田県鹿角郡毛馬内（現・鹿角市）に生まれ、同県北秋田郡横子小学校訓導を経て二十歳のとき上京、『日本人』（のち『研細』）の他いくつかの雑誌の編集にたずさわり、さらに『万朝報』や大阪朝日新聞の論説記者となり、転じて明治四十二年（京都帝國大学文学部大教授、大正十三年停年退官、昭和二年京都府相模野原京に没）に『禁都風土記』（現・川茂堂）に『禁

所以である。その学問はまた、議
 学上のいわゆる「東洋史」の枠で
 はとても覆いきれぬものではな
 く、文化論あり政治問題あり日本
 史論あり、なお文壇家であり、第
 一級の書をもした。多数の新聞
 論説や中国絵画論、書論に至る多
 彩な述作は、歴史学に傾傾の中心
 を置いた湖南の全学問の必然の展
 開であると共に、それぞれの分野
 で今日の学問の基礎を築いた研究
 であつて、なお世の毀譽を許さぬ

湖南を象徴する書籍を二つ例示すると、章学誠『文史通議』（京都本）がある。今日世界的に知られた章学誠（一七三八—一八〇二）は、清朝考証学が一世を風靡する中で一種の史論を立て、精密な構成を以て独創的な終学・史学の方法論をこの書で展開した。湖南は大正のはじめこの書を得て章学誠の学問を顕彰し、これがきっかけで中国でも初めて章学誠の学問の真面目に知られるに至ったのである。

・京都大学人文科学研究所)において東洋法制史を研究のち大阪市立大学法学部で「東洋法制史」を担当し、昭和五十八年停年退官、昭和五十三年(一九七八)京都の自宅にて死去した。この間大正十五年には本学名誉教授石浜純太郎博士と共に湖南に随行して渡欧し、ペリオやスタインの敦煌文書を調査している。伯健は東大の仁井田陞博士と共に戦後の東洋法制史学の基礎を築いた碩学である。

○時間 さきと千円以上を煙を吹かし続けたことになる。また一本一〇円という現在価格に換算すると、二〇年で二一九万円を煙にし、一一九万円を税金として納めた勘定になる▼半年前まではこんな計算などしようとも思わなかった。それどころか喫煙が有望であることを報じた番組や記事の類は見ない、読まないといふことになっていた。身勝手なもので、飲まなくなつて

(一九三四)、同山莊で死去した。本年はあたかも没後五十年にあたる。

湖南は文字通り近代日本の激動の期間に生きた稀にみる天才学者というべく、卓越した学問・識見は一世を圧くした。その学問は具体的に「東洋史学」において結実したが、主として「東洋史学」によって導かれた近代日本の思想家の一人（参照原藏博士）といつてよい。湖南の事実意識における立証・立論の精密さは常人の及ぶ所ではない。

これら多方面の認識が有機的に綜合されているのが湖南の学問の全体的像であるが、その背後には明治以後近代化に推進するわが国の現状と文明に対する深い憂慮があった。吉川幸次郎博士が、この主才の学問が『史記』の著者司馬遷のように「憤りから始まった」とされるのは「憤り」の意味であると言っているべきである。

湖南はまた稀代の書畫家でもあり、大蔵書家でもあった。藏書のうち国宝などの書物は皆くも

がこの『文史通義 稿本』なのである。胡適などは大いに落いて、この書を見るためにわざわざ湖南の京都宅を訪れている。

湖南は京都大学では東洋史学者一講座を担当し、多くの優秀者を育てて今その裾野は限りなく広い。退官後「禁林山莊」に隠棲して、でも研究と指導はいささかも衰えなかった。山莊の書庫に万巻の遺書を積んで学問に執念を燃やす姿はほとんど伝説的である。今句「禁林山莊」もまた本学が譲り受

俣制とその法の研究で、また敦煌
 官文書の研究は特に抜きん出てい
 たが、伯健の学問は常に旧中國社
 会を貫く「歴史と文化」を深く見
 据えていた。従ってその智識は極
 めて、
 本学の大きなできごとであり
 理は各方面の専門家の協力を
 ければならないが、内藤冬二

自動車等によつて
 通学通勤は全面禁止

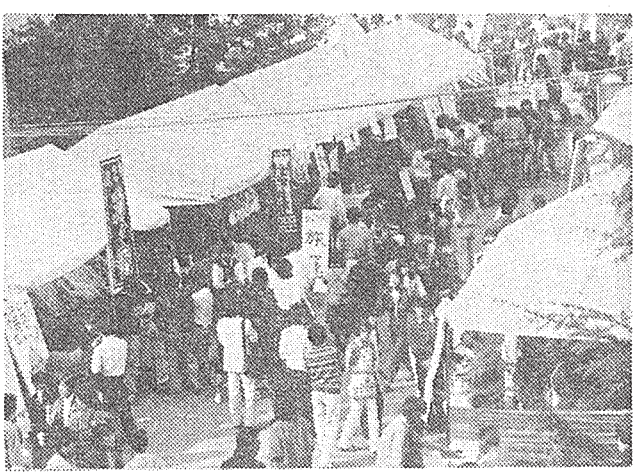
みんなで
 迷惑駐車

流煙の話しにも冷靜に耳を傾けることが出来るようになったといふしかし、止めてよかつたと言ひ切るだけの自信はまたない。発病、夏休み、検査入院、手術待ちの休養という条件下の禁煙である。元氣になればまたいつ禁煙を破るかもしれない。それに仕事から論文を書かずにいるわけにもいくまいが、この拙い短文を草する間にもちや煙草の助けを借りたくなるからである。

(K・M)


$$\widehat{K \cdot M}$$

11月3日から学園祭



PASSION '83

ギャラリィからステージへ

今年も本学独自の学園祭が、11月3日から5日の3日間、本学グラウンドに盛大に開催される。今年も、学生、教職員の熱意と情熱が、この学園祭に注ぎ込まれる。今年も、学生、教職員の熱意と情熱が、この学園祭に注ぎ込まれる。

スポーツ週間開幕

第一部 参加者5千人超す

本学独自の学園祭が、11月3日から5日の3日間、本学グラウンドに盛大に開催される。今年も、学生、教職員の熱意と情熱が、この学園祭に注ぎ込まれる。今年も、学生、教職員の熱意と情熱が、この学園祭に注ぎ込まれる。

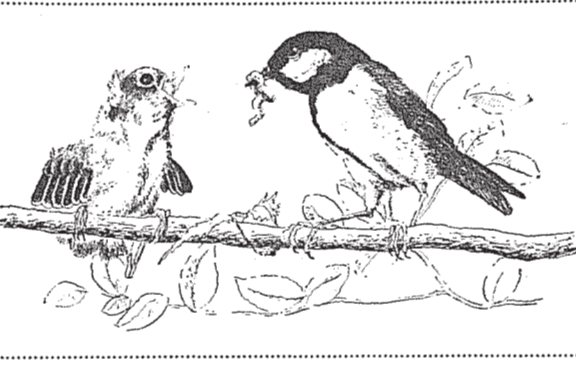
第二部 スポーツ週間

本学独自の学園祭が、11月3日から5日の3日間、本学グラウンドに盛大に開催される。今年も、学生、教職員の熱意と情熱が、この学園祭に注ぎ込まれる。今年も、学生、教職員の熱意と情熱が、この学園祭に注ぎ込まれる。

発達加速現象とアンバランス

発達加速現象とは、人間の成長が、従来のペースよりも速く進む現象を指す。アンバランスとは、人間の成長が、従来のペースよりも速く進む現象を指す。

四季の野鳥

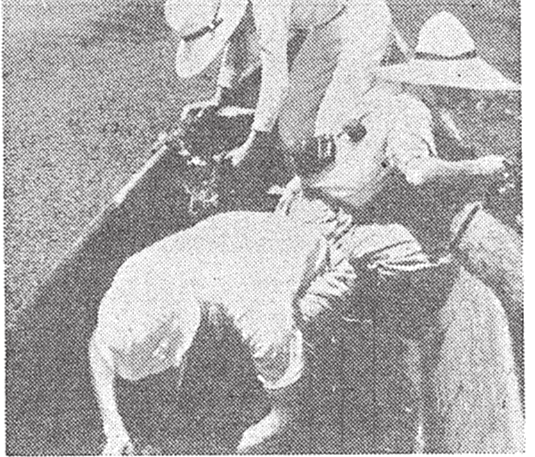


荒井 政治

四季の野鳥は、自然の恵みである。春夏秋冬、それぞれの季節に、それぞれの野鳥が活躍する。自然の恵みである。春夏秋冬、それぞれの季節に、それぞれの野鳥が活躍する。

自然と親しむ

自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。



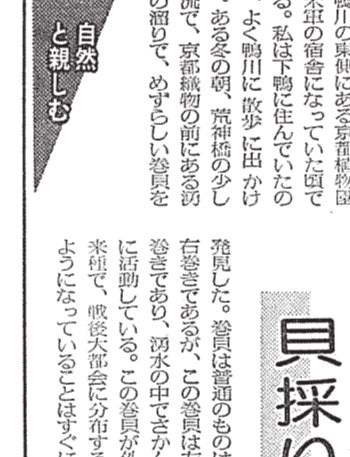
貝採りに魅せられて

杉原 弘人

貝採りに魅せられて、自然と親しむ。貝採りに魅せられて、自然と親しむ。貝採りに魅せられて、自然と親しむ。

自然と親しむ

自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。



自然と親しむ

自然と親しむ

自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。

自然と親しむ

自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。

自然と親しむ

自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。

自然と親しむ

自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。

自然と親しむ

自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。

自然と親しむ

自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。

自然と親しむ

自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。

自然と親しむ

自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。

自然と親しむ

自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。

自然と親しむ

自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。

自然と親しむ

自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。

自然と親しむ

自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。自然と親しむことは、人間の健康と幸福に不可欠である。

